

育英小学校と教育 百年のうつりかわり

明治五年に発布された学制は、維新大革命の内の最たるものの一つであらう。

明治六年二月十一日、妙輪寺の一室を仮校舎に当て、泊小学校が発足したのであるが、移行期は名称が変わっただけで、寺小屋そのままであり、教科も、よみかき、そろばんが主であった。児童生徒も六、七才から十二、三才までが約六十名混同して収容され、教員が二名配置されている。

同年の十二月、加賀藩の収納米蔵をもってきて、現在の泊高校の所在地に校舎を新築、翌七年「広明小学校」と命名し、初代校長として富山市の島田敬充氏が就任している。当時学年は上等八級、下等八級の仕組になっていた。

翌八年、一校舎増築すると共に、「第六大区、新川県第九中学区第二百十四番小学区泊町広明小学校」と称した。(その年草野村に、至誠小学校が設置され、校長として大谷敬三氏が任命されている)明治九年に新川県が石川県となり、同一年に泊町外八カ村(沼保、道下、荒川新、大屋、横尾、宮崎、笹川、境、大平)を合して泊町と称し(平柳、東草野、月山、南保を平柳村と称した)、校名を「泊町外八カ村聯合公立広明小学校」と改称している。



翌十二年、第一回の尋常科卒業生として次の男九名、女三名を世に送っているが、

柏木久義、松永林太郎、加藤忠次郎(育英小学校六代目校長)、東善助、柳沢嘉太郎、殿村直次郎、筒井政次郎、玉森芳亮、伊東トミ、伊東モト、岡ステ等の諸氏である。

同年教育令が公布され、翌十三年、初等三年、中等三年、高等二年の制度となり、当時の校長津田政治郎氏によって「育英小学校」と改称された。これは当時文部卿の視察があった際、何かの示唆を与えられた影響によるものと考えられ、現在の泊小学校の校長室に掲げられている「育英小学校」の扁額は視察官を通じて三条実美に揮ごうを依頼したものとされる。

明治十六年に石川県から富山県として独立、十九年に尋常科四年を義務教育とし、高等科四カ年を任意制とする小学校令が制定された。

翌二十年に至り、初めて新校舎が建築されたのであるが、これが現在町議場として使用されている建物である。当時富山県では、伏木、高岡の三か所だけに表題写真のような洋風建築の校舎ができたもので、当時の人々の目を瞠目せしめたものであり、その建築費は五千三百四十円だったそうである。

明治二十三年に教育勅語が発布され、二十八年に「泊尋常高等小学校」と改称、四十年に義務教育が六カ年

に延長され、高等科は二・三年とし、女子は補修科として二年の制度が定められた。

時は大正に移り、十五年に至り、当時の町長野田仙之助氏は、鉄筋三階建校舎の新築に着手、工費十八万円余をもって昭和三年に完成、これも当時富山県唯一の小学校舎としてその名をとどろかせたもので、現在の泊高校校舎がその前身である。その後、国民学校令の施行を経て、戦後の六・三制実施に伴い、その校舎を泊高校に移管し、中学校の新設や統合による新築等、幾多の変せんを経て、泊小学校は新制中学校の校舎を利用して今日に至っている。

(編集委員 間部善治)

八標題写真
かつての育英小学校(下新川郡史稿より)

明治初年の卒業証書



特集

明治100年を語る座談会

期日 十一月三日
会場 松林寺
主催 朝日町中央公民館

司会 間部善治 (あさひ編集委員)

出席者 (アイウエオ順)

- 伊東礼三 (会社役員) 文化運動その他
- 内島よし (祝儀用) 風俗、習慣
- 小川弥一 (教育員) 教育、青年団活動
- 大菅達二 (中央公) 交通、文化
- 大平一衛 (教員) 戦後の文学演劇活動
- 大平鉄治 (呉服商) 商業、金融
- 加藤常次郎 (元校長) 教育、文化
- 草野隆太郎 (医) 医療、保健
- 小沢しげ (主婦) 風俗、習慣
- 田中喜義 (下宿業) 遊芸、娯楽
- 谷口松次郎 (主建築) 政治運動
- 富岡啓二 (農) 農政
- 野島二郎 (文化財調査委員) 郷土史、主要事件
- 広川親義 (教育委員) 文学、美術
- 細川直次郎 (茶) 文化運動とその人物
- 松下弘 (農) 軍事
- 水島富男 (漁業) 漁業
- 水野すな (婦人会長) 婦人会活動
- 森群平 (文化財調査委員) 警察、行政、交通
- 山岡源嗣 (農) 行政、政治
- 山崎繁松 (農) 農政
- 山田藩 (元校長) 教育
- 柚木ひさ (旅館業) 生活文化

△その一▽ 大菅中央公民館長

明治百年については世間いろいろな批判もありますが、われわれとしては、別に式典を行なうとか復古調をうんぬんするとかの意味でなく、明治から百年を経た朝日町を振り返ってみて、われわれの生活なり、いろんなものかのように変わってきたかということ、ご年輩で、しかも記憶の達者な方々に集まっていた、語り合って、これを記録にとどめ、後世に残したいという意味で、別に主義主張などとは関係はないのであります。

いろいろな思い出話の場としてなかなかふんいきのうちに終ることを確信しております。

きよりの菊薫る文化の日、しかも天候に恵まれ、昔話に花を咲かせていただきたいと思います。ご多忙中のところ繰り合わせご出席をいただき厚く感謝申し上げます。

中川町長
本日はお忙しい中をご出席いただきまして……

ただいま公民館長さんのおっしゃったような趣旨で座談会を持ちたいと思っております。

歴史というものから見方は、いろいろな角度からの見方によってまちまちだと言えはりますが、それは別としまして、往古を語り合っていただきそれを記録に止めておきたい。そういう素朴なつもりで座談会でありまして。学識経験の方なり、ご年輩の方なりに一堂に会していただきまして……まあこれだけまわってお歴々の方々を集まっていた機会はない

ように思います。折しも明治百年の、しかも文化の日にかういつた催しを持ちますことは非常に有意義に思っております。どうぞ腹藏なくお話をさせていただきたいと思っております。

司会
司会をつとめる間部でございます。日本の夜明けとうたわれた明治維新を迎えてから既に百年、また、昭和のご一新とも言われた終戦を迎えてからことは二十三年目でありまして。

自由の嵐、あるいは民主主義の動乱の中で、日本は古い着物を一枚一枚と脱ぎ捨てながら今日に至っております。

戦後二十数年、現在の日本を昭和の元祿とまで言つてその平和さを讃えております。しかしながら日本は国内的にも国外的にも未だ解決できない、いくつもの大きな問題を抱えております。

そのような中で私たちは今日明治百年を迎え、きびしい歴史の流れの中で、いろいろの分野でそれぞれの

ご理解していただき、珍談奇談結構談論風発、終始笑いの中で座談会が盛り上がりつつあることを期待してやみません。

前置きが少し固くなりましたが、一口に言いますと、きよりの集まりはその昔の思い出を話して語り合うことでありまして、いわゆるザツク balan、よそいきの言葉をお使いにならなくてもよいのでありまして、楽な気持ちで話しあっていたらいいのであります。

なお、私の方で特定の方に特定の話題を投げかけ話しを引き出していきますが、それに関して多少でも何か知っておいでになる方は、司会者の指名を待たずして自由に発言していただいで結構であります。

どうかみなさん、きよりの趣旨をご理解していただき、珍談奇談結構談論風発、終始笑いの中で座談会が盛り上がりつつあることを期待してやみません。

家としての立場から、野島さんおねがいします。

野島
ごく大ざっぱにあらすじを申しあげますと……明治二年の秋ですが、その年は長雨のため不作の年で、一般の農民が年貢の減免をしてほしいと申し出たわけでありまして。特に富山県の東半分はげしかつたのです

が、当時は大体、今の鉄道に沿って

塚越村から出たばんどり騒動

——年貢を不満とした百姓一揆——

野島
ごく大ざっぱにあらすじを申しあげますと……明治二年の秋ですが、その年は長雨のため不作の年で、一般の農民が年貢の減免をしてほしいと申し出たわけでありまして。特に富山県の東半分はげしかつたのです

支配区域があつて、それらの役人であつた十村役が十人ばかり集まり、各自分の支配地でバラバラに年貢の取扱いをやつてはまずいから統一しようということ、十村相談所で協議をしたわけです。その十村役の中には、ここに列席しておいでになる伊東礼三さんの曾祖父に当たる伊東彦四郎さんや、当時入善におつた私の曾祖父の野島和七郎などが列席していたのですが、いろいろ議論は出たわけですが、結局、例年どおりでいこうということになったのです。これに対して大変不服であるというので、立山町の塚越村を中心

に反乱がおきることになったのです。当時北海道や東京を視察してきつた当時の知識人であつた塚越村の忠次郎という人物を表面に立てまして、その年の十月末頃から東の方へ進んできたのですが、泊へきましたのが十一月の二日の朝ですが、みんなばんどりを着て、竹槍をもち、ほら貝を吹きながら、十村役人の宅や大地主の家などの焼打ちがはじまつたわけです。朝日町では、大家庄、平柳、泊が最大の襲撃を受けた場所、特に現在の役場の所にあつた代官所であるところの十村御用所、つまり伊東彦四郎さんの所が最も被害がはげしかったのです。家は焼打ち、土蔵三つ打ちこわし、一つは焼き捨てるといふ惨状だったわけ

です。一方、この鎮庄のための政府軍は、魚津から山本又九郎という人がきて、当時境の関所にいた足軽、明治になってから卒族といつていたのですが、これらをひきいて横尾に本陣をおき、今の八幡宮あたりに陣地を敷いて制庄にかかったのです。

一方反乱軍の方は、いまの草野久弥さんの所に小沢喜四郎さんという家がありまして、ここに本拠を置いて打ちあひがはじまつたのです。当時官軍は小銃や野砲まで使つております。そんなわけではいまの中町や下町は全部戸を閉めさせ、女子供は全部かくせよということで大変な騒動だったわけですが、そうして十一月二日の晩官軍の方から斬込み隊が出て小沢屋を襲撃したのですが、隊長格の忠次郎が、草野孫右エ門さんの宅に招かれてごちそうになり、本拠に戻つた所を襲撃され、顔に傷を受けましたが、部下に守られ一時助かつております。反乱軍で泊の方へ入つたのは一〇〇名あまりで、お寺や民家に分散していましたが、官軍の方は近代的な武器をもっているのに反し、反乱軍の方は竹槍だったといふことで、ついに惨敗に終わり、大部分は舟見街道から愛本橋を渡つて逃げ、一部の者は入善の方へ逃げたのですが、頭領の忠次郎は青木でつかまつております。

この辺で被害をうけた方とか、ばんどり騒動に参加した者などおられますか。

野島 大い役人とか富豪が対象でしたが、当時十村の役所から出た報告によりますと、町の人では一人も死んでおりませんが、十村役人の関係とか富豪関係では十四、五人鉄砲や刀傷で死んでおります。家は相当焼かれております。

野島 明治元年になって会津戦争が終わり、何かしら人民の気持が、ご一新といつて新しい政治を求める声が全国的にあつたわけですが、一般百姓の方は当時の肝煎を通して十村御用所の方へ年貢をまけてくれといつておられるのです。ところが前の年の慶応三年と比べると大した不作とは思えない、先ほど申しましたように十村役人が協議した結果、こんな申し入れをいちいち聞き入れていたら将来年貢がとれなくなるといふわけ

です。そのとき年貢をまけてやらなければならぬと言つた役人は、水橋の杉木という一人だけで、あと魚津の神保さん外、結城さん、田村さんなどが反対し、なかなかの激論

追いつめ撃退した功績で表彰されております。

おそろくばんどり騒動は封建時代の最後の一揆だろふと思ふんですね。後の富山県が火ぶたを切つた米騒動と性質がまるで違ふわけですが、要するに呉東のこのあたりが加賀藩の配下であるということ、大体百姓一揆をやるという藩というのは、政治がまずいんです。いたずらに百姓から吸収するということが原因になるんですね。加賀藩のこのあたりに対する政策がですね、何かこう非常に税金がやかましかつたとかいふようなことがあつたわけですか。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

うな事態がおきたそうでありまして、これではみんな餓死してしまふといふので、指導者のもとに集まつたといふことを聞いております。

大昔

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

うな事態がおきたそうでありまして、これではみんな餓死してしまふとい

ふので、指導者のもとに集まつたとい

ふことを聞いております。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

うな事態がおきたそうでありまして、これではみんな餓死してしまふとい

ふので、指導者のもとに集まつたとい

ふことを聞いております。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

うな事態がおきたそうでありまして、これではみんな餓死してしまふとい

ふので、指導者のもとに集まつたとい

ふことを聞いております。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

うな事態がおきたそうでありまして、これではみんな餓死してしまふとい

ふので、指導者のもとに集まつたとい

ふことを聞いております。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。



野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

野島 松下さん、何か昔そんな話など聞いたことがありますか。

松下 ばんどり騒動の話は聞かされてい

ました。何分子供の頃のことです

から……ただ、当時お米のとり立て

が非常にきびしかったので、菜っぱを食べてでも生きられないというよ

だつたそりです。それで比較的年長だつた伊東彦四郎さんが、これ以上議論してもしょうがないから、当時神保さんが役人の中の最古参であつた関係上、神保さんが反対されるからここで統一しようということになつたんじゃないですか。

私の曾祖父は伊東彦四郎の実弟でしたので、結局兄さんの意見に賛成しようということをお願いしておりました。役人の中でただ一人だけか年貢をまけてやろうということをおっしゃらないことからも、必ずしも当時の政策がまずかつたとは言えないのではないですか。

ばんどりを着て戦つたから「ばんどり騒動」

司会

大体ばんどり騒動というなまえがついたのは、一揆の者がみんなばんどりを着ていたのでつuitたわけですか。

野島

そうですね。当時の外套に「みの」と「ばんどり」があつて、「みの」は上層階級が着るもので、これは原料もちがい、「ばんどり」は作業者でわらを原料にして作ったもので、その品質の悪い外套を着て戦つた者たちということですね。

大平

忠次郎の思想的なものだとか、もの考え方とか、そういうものが史実としてはないわけですか。

野島

あります。十年程前までは、ばんどり騒動は、忠次郎が率先してやつ

たと言われていたんですが、実際は浅生村の伊七郎という人で、明治になつてから寺林といつていますが、この人が中心になつて実際の原動力となつてゐるんです。

忠次郎は安政五年の立山の大地震のとき大きな被害をうけたため家運の復興をしなければならぬといふことで、家を使用人にあずけて自分

は江戸へ出る、さらに江戸から北海道に出て、そこで異人館の建築の仕事なんかやつてゐるんです。従つて外人との接触もあつて、新しい文明開化のにおいを大いに嗅いできたわけです。そして浅生村の伊七郎あたりから、あなたは文明開化人だからいろいろなことがわかるだろう、ひとつ親方になつてくれとたのまれ、一度は断つたが、何度も頼まれてついに参加することに決心したので

すが、彼は、合法的なことばかり主張し、反乱はいけなまいというので、それでは一応忠次郎の言うとおりにしよう、ということでも合法的に話を進めたのですが、折悪しく役人の異動があり、年貢はまけるどころかますます強圧的となつてきたので忠次郎も意を決したわけですね。ですから、決して忠次郎がやつたものでなく、やはり、学者の言ひ、農民の中に燃えているエネルギーが浅生村伊七郎を中心に爆発したもので、単に忠次郎は文明開化人だといふので、方法論としてかつき出されたものにすぎないと思ふのです。

だから、彼は明治四年に処刑されたんですが、極刑のはりつけにはならず、斬首という一番軽い死刑になつております。

大平

そうしますと、明治維新で、いい時代が来るんだという期待に反して新政が遅々として進まず、うっ積した農民の気持だとか、年貢の取立の強化のために食えなかつたとかいふものが要因になつたと考えていいんですね。

野島

そうだと思いますね。

ばんどり騒動は完全な農民運動

大平

米騒動とは、反乱の形としては違つておられますか。

野島

ちがいますね。自然発生という形としては似ていますが本質は違つておられます。最近では、米騒動というのは労働運動である、というのは仲仕という賃金労働者の運動であつたから、これは労働運動のさきがけとみなければならぬと言われているわけなんです。ところが、ばんどり騒動は完全に農民運動であつて、形は似ていますが中味は違つておられます。

司会

伊東さん、あなたのお宅は一番の被害者だつたということですが、何か思い出話でもありませんか。

伊東

そうですね。私の曾祖母にきいたことですが、当時私の家は十村をやつていたので、お上からの達しがないため全然手出しがでぎず、ただ待機して居ただけだつたそうです。それで、一揆の連中が押しこんできて、家の中に火をつけたらしい

ですが、ちょうど今の役場の前の方に大きな梨の木があつて、それに火がついたり、それに、いまの御殿の前の方にブナの木が並んでいて、その片面がずつと燃えていつたそうなんです。ちようど後に大安寺があつたため、寺に延焼して大火になつたら大変だといふわけで、当時の草野さん達がかけつけて火を消してくれたといふ話です。そのあと役人の人達が私の家の方へおいでになるといふことで、ばんどり陣は逃げ出していつたそうですが、そのとき、家の前に直径四〜五尺ぐらいの釜がすえてあつたそうですが、その釜の中にかくれたり、いまの太子堂あたりにあひるの小屋があつたそうで、そのあひる小屋にかくれたりしたそうであり

ます。当時ばんどり陣が押しこんできたときは、家族たちはみな、大安寺へ逃げて避難していつたそうです。

大平

「ばんどり」追討に大活躍の朝日町人

私の母方のおじいさんは境の関所につとめていたんですが、そのおじいさんの話では、ばんどり陣がいよいよ逃げ出したという話から、だれがいちばん強かつたかと聞いたら、岡さんという人だつたと聞かされました。私はその人を知つております

が、関取のような立派な体格の人であれならぬ分役に立つたろうと思つておられます。十一月三日の朝ここににお見えになつてゐる小沢しげさんの実家の方へ斬り込まれたわけですね。岡文五郎さんの家は今はありませんが、その分家の岡禎一さんの曾祖父に当たる方で、この方が斬込一隊に入つて、忠次郎の左ほおに傷を負わせた方なんです。それから大平さんの母方のおじいさんといふのは渡辺玄益という方ですが、この方も活躍されましたし、また、その方の弟さんの広川良太夫さんも、斬込二番隊に入られて大いに活躍されておられます。

司会

小沢しげさん、いまのお話について何か聞いておいてになりますか。

小沢

私はくわしい話は知りませんが、斬込隊が入つたときのことと思ひますが、縁の下にかくれてゐるのを畳の上から突いて座敷に血を流したと聞いております。私たちは小さい頃、「ばんどりがくるぞ」などと言われて、どんなにこわいものかとおそれていたものです。(笑ひ)

明治五年に区会所の設置

警察の変せん

長かつた分署時代

司会

ばんどり騒動はこれくらいにいたしまして、明治三年九月に十村制度が廃止されましたが、行政事務はそ

のまま、十村出身の人がこれに当たり、この辺では伊東彦四郎さんがそのままその任についておられたわけですが、明治四年に廃藩置県が行なわれ、新川県ができ、翌五年に新川県を大区、小区に分け、戸長制度というものが確立されました。野島さん、伊東さんはそのまま戸長になられたわけですね。

野島

そうですね。戸長というのは、はじめ戸籍の方からで明治四年にはじまったものです。それで、戸長になりましたら、管轄地区が狭くなり、そして立法権、司法権がなくなり、全く行政権だけで、十村の中でも新参の方は別として、大きい十村役人の方は、どうもそんな格下げになつたようなものは困るというわけで遠慮され、しばらくは置いておられないのです……。あとでなっておられるのですか……。

司会

その頃、警察制度というか、明治五年に屯所というものが開かれていくのですが、森先生、何かこのことについて一つ……

森

記録を見ますと、明治五年三月に第十三、十四の区会所(いまで言えば警察署)が泊に設置されて、詰所を置いて邏卒(巡査)を置いたと書かれています。

かんとんに警察の歴史を申し上げますと、明治七年十二月に巡視屯所というものが設置され、明治八年にはじめて警部とか巡査とかの名称に変わっています。それから明治十一年六月に魚津警察署泊分署が設置さ

れ、明治二十九年に泊分署長が入善、舟見を兼務し、さらに昭和九年に泊分署が廃止され、泊警察署になつていきます。

司会

そうすると、警部とか巡査とかいう制度は明治八年にすでにできていくわけですね。それから私たちが恐れをなした分署というのがずいぶん長く続いたわけですが、「分署へつれていくぞ」と恐れられたものですね。

森

いま申しましたように警察の歴史は変わっているのですが、その後さらに、終戦後、泊町警察署となり、昭和二十三年には自治体警察署になり、二十六年九月に泊自治警察署が廃止され、十一月に入善警察署泊警部補派出所となり、さらに入善警察署朝日警察官派出所となつて現在に至っているわけです。

司会

昔の警察のことや分署時代のこと、何か思い出話でもありませんか。大平さんどうです。

大平鉄

明治四十年頃の記憶かと思えますが、私の向かいの草野病院の所に、ちょうど時代劇の捕物映画にでてく

県下で二番目の泊郵便局

なんといつても百万石様配下

司会

記録によりますと、明治五年に高岡にはじめて郵便役所というものができていくわけですね。そしてその年の三月に泊に郵便局ができて、その

るような番屋がありまして、これは警察とどのような関係にあったかよくわしく知りませんが、あるいは火の用心のためのものであったかも知れませんが、よくいたすらなると、親から「番屋へつれていくぞ」とおどかされたものです。ちよいちよいのぞいてみると、いつもおじいさんがたばこをのんでいたのを覚えていきます。

あれは警察と関係があったのでしようか。

大青

それはおそらく、火の用心が目的のものじゃなかったのでしょうか。ところで、警察の建物はいまの農協のところにあつたように記憶していますか。

司会

最初に泊分署の建物できたのはどこだったんでしょうか森先生。

森

それはちよつとはつきりしませんが、私らの記憶にあるのはやはりいまの農協のある場所です。

山岡

あれは最近まであつたはずですが、

はつきりしたことは知りませんが、いろいろな点、たとえば裁判所にしても入善が早かつたりしているんです。

富山というのは昔は上新川郡でした、富山が独立したのはそんなに古い歴史ではないんです。まあ、富山十萬石と言えは全国的にも大きいわけですが、百年前の人に言わせると加賀藩の十分の一の藩であらや(分家)じゃないかというわけなんです。たとえば境や大屋が魚がとれても、そんな十萬石なんか食わせられんすぐに百万石様というわけですね。富山とか高岡とかが連合して、ひとつ県の中心になろうじゃないかといつたときでも、やっぱりためだ、魚津に新川県庁をおかなければならぬ、そんな十萬石なんかのちっほい、そんなところを相手にしてもためだといふわけなんです。百万石といえは全国一ですからね、二十年後によりやく富山が大きくなって、もう富山には追いつけないという気持をだんだんいだいてきたんじゃないですか。

郵便局設置に伴い

太陽暦の採用

司会

大体そんな感じがいたしますね。われわれの時代感覚からいうと、何としてでも富山が中心という観念がありますけれど、明治初年あたりは高岡、伏木辺が一番中心じゃなかったかという感じがします。

ところで、高岡に郵便役所ができたところ、富山、魚津、滑川、水橋などで、それに伴ってはじめて

太陽暦を採用していませんね。当時太陽暦を採用しても郵便局のある所だけが何とか太陽暦が行なわれたけれども、ほかはなかなか浸透しなかつたように聞いておりますがこのようなことで何か裏話でもありませんか。

野島

明治五年十二月三日から新しい太陽暦に変わっているんですが、十一月九日に、太陽暦に変えるぞ、ということになって、大阪あたりでは相当たくさんの方が自殺しているんです。これは商取引の集金が大晦日にやる習慣であつたためでしょうが、太陽暦採用のため、その年だけは太陽暦がなくなつたためです。これじや借金とれない、大変だということなんです。この話は実際読売新聞にもでております。

司会

十二月三日から明治六年になったことよって、この町の商取引にも多少の影響はあつたわけですか。

野島

記録にはありませんが、多少はあつたんじゃないですか。

大青

しかし一方、民俗的には二月正月の風習が未だに残っているところもあり、この辺のお盆もそうであるように、まだまだ旧暦のものも残っていますね。

大平一

尺貫法とメートル法のようなもので、国がどれだけやかましくいっても、その切り替えは相当の期間を必要とするんじゃないですか。



そろったり!! 300点

珍らしいものがズラリ 盛況裡に民俗資料展

— 明治百年記念事業 —

日とともに失われ、一度失われてしまえば再びとりかえすことのできない大切なものに私たちの祖先が残した文化財がある。

朝日町中央公民館では、明治百年を機に、失われゆく町の民俗資料(衣食住、生業、信仰、年中行事等)に関する風俗慣習、及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物で、人の生活の推移を理解する資料となるものを調査して、これを一室に集め、広く人々の観覧に供することにより、私たちの祖先が絶えず創意工夫し、生活文化の進歩に努力した一端にふれるとともに、祖先の生活の営みを想起し、これを機会に文化遺産の大切さの理解を深め、あわせて今後の町文化の発展に役立たせようと、十一月十日から十四日まで五日間にわたり、朝日町中央公民館において、町ではじめての民俗資料展を開催した。

あんどん
行灯、カンテラに至る灯火用具等の生活資料など約二百種三百点がずらり陳列され、更には自在かぎや困煎裏をおいた農家の居間や商家の帳場をそのまま再現するなど多彩な内容で、連日社会科学習の学校の生徒や一般の観覧者でにぎわい、予期以上の成果をあげて盛況のうちに終了した。

郷土を緑の町に!!

盛會に明治百年記念植樹祭

朝日町明治百年記念植樹祭は、十一月二十二日、中川町長、上島町議会議長ら町当局及び町内各種団体代表をはじめ、川口県緑化推進本部事務局長、鬼原県魚津農地林務事務所長らの来賓、地元山崎校下婦人会、山崎、南保、大家庄三小学校児童、小川中学校生徒ら約六百人が参加して、山崎地区岩崎地内で盛大に行なわれた。

植樹祭は誠に意義深いものがある。参加者は、山の斜面を掘り、苗木を一本ずつ丁寧に植え込み、最後に全員で万歳を三唱、明治百年を祝い、この苗木がすくすくと育つことを祈り植樹祭を終えた。(産業課)

△写真上▽
植樹祭の様様

十二月は

国際人権年記念

「人権月間」です

ひびけ世界に人権宣言

ことしは、国際連合総会で「国際人権年」と指定されています。

これは、ことしが「世界人権宣言」採択二十周年にあたるので、この宣言の理解を深め、平和のため、人間尊重のため、一層意義ある年としたい、という願いからです。

人権を守って明るい社会

わが国では、ことしの十二月を「国際人権年記念人権月間」として

(中央公民館
教育委員会)

△写真左上▽
連日の観覧者でにぎわう民俗資料展

全国民とともに「世界人権宣言」を再認識し、人権意識を一層普及高揚しようとはかっています。

県下の人権侵犯事件の実情

昨年度、富山地方事務局と人権擁護委員が取扱った富山県下の人権侵犯事件は一三五件、相談事件は一、五三二件もありました。ことしは九月末ですでに人権侵犯事件一〇四件相談事件一、五九〇件を数え、このままでは昨年を相当上まわりそうです。

法務局や人権擁護委員は

あなたの人権のガードマン

身近な公害、私害、名誉信用の侵犯、差別待遇、いやがらせ、その他「人権が侵された」ときは、「侵されるおそれがある」ときは、すぐに地元の人権擁護委員か法務局へお申出ください。相談料はいりません。朝日町の人権擁護委員は次の方たちです。

- 朝日町桜町 上田 憲二
 - 朝日町泊 小沢 弥
 - 朝日町泊 在田 祐芳
- (総務課)

十二月の人権身上相談

一、日時
十二月十六日(月曜日)
午前十時から午後三時まで
場所
朝日町職工会館
一、交通事故に伴う損害の問題や土地の境界問題、営業妨害の問題、親子の問題など、人権に関する諸問題を無料で秘密に相談を受けます。(総務課)

年末年始を健全に

青少年健全育成 町ぐるみ運動に協力を

年末年始はあわたたしく、何となくうわついた気分になりがちです。

また、学校や会社、事業所等も休暇になり、とかく青少年にいろいろと問題がおきやすい時です。

この際、家庭はもちろん、社会全体が、青少年が健全に楽しく過ごせるよう創意工夫、努力しましょう。

特にこの期間は、年末は忙がしく、年始は生活にしまりがなくなりがちです。忙がしいときも、楽しいときも、家族全員が協力し、互いに助けあい、毎日を「家庭の日」としましょう。

忘年会や新年会などで、未成年者に酒やたばこをすすめないようにしましょう。

交通事故をおこさないよう、注意の上にも注意をしましょう。
(青少年問題協議会)

冬休みを 明るく楽しく

— 児童生徒のみなさんへ —
過ぎ去る年を反省し、新しい年への計画を立てる。

●学習計画を立て、毎日実行する。
●課題の学習

●二学期の不振学科のばんかい

●家族の一員としての務めを果たし

自分でできることはすすんで行なう。

●病氣予防に心がけ、次のことに気をつける。

●かぜ——こたつの居眠り、汗のしまつ

●腹痛——たべすぎ

●睡眠不足——夜ふかし

●こづかいやお年玉はむだづかいせず、できるだけ貯金する。

青年会館設置を議決

第六回朝日町青年議会

第六回朝日町青年議会は十一月十日午後一時から役場議場で本会議を開き、各常任委員会に付託されていた城山の開発などについて委員長報告があつた後、青年議員提出で、青年会館の設置、任意制選挙公営立会演説会と町長、町議選における選挙広報の発行の条例化の二議案を全会一致で議決、今後町当局などにその早期実現をはかるため働きかける事にし、一般質問を行なった後、午後四時閉会した。

青年会館の設置は、当町に集会施設や結婚式場が不足し、とくに青年の活動が妨げられている現状から、町当局に施設作りを訴えたものである。また、これまで町長選や町議選に立ち会い演説会や候補者の識見、公約を知るための選挙広報がないた

大家庄校下が四連勝 朝日町青年祭成績

△体育の部▽

▽バスケットボール(男)

①泊②山崎③宮崎、南保

▽バスケットボール(女)

①南保②宮崎③大家庄、山崎

▽バレーボール(男)

①五箇庄②大家庄③青年団OB会

▽バレーボール(女)

①大家庄②境③南保、山崎

△文化の部

▽美術展

○最優秀賞——(写真)由井憲治(大)

○絵画 優秀賞——小林哲男(南)

努力賞——中島真一郎(南)、大井一光(大)

○美術工芸 努——井口信子(大)

泊青年学級生一同(泊)

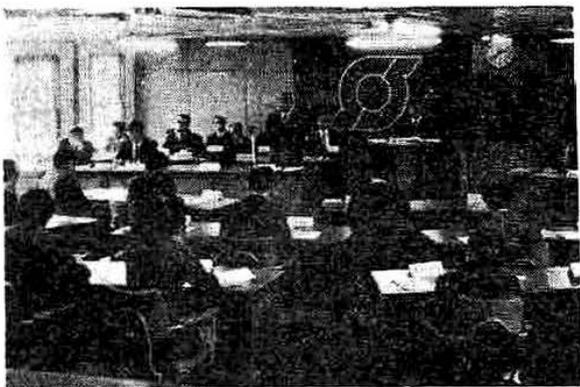
○書 努——大久保七月子(大)

○写真 優——吉田進(大)、努——東正信(大)、谷勝由(山)、魚津勝夫(泊)

▽生活技術創作展

○衣 優——西村民子(五)、努——青木磨紀子(泊)、永口幸枝(山)

△青年議会の様子▽



国民年金

一月から
保険料が
引きあげに

国民年金の保険料は、昭和四十四年一月分から三五才未満の人は、月二〇〇円が二五〇円に、三五才以上の人は月二五〇円が三〇〇円になり、それぞれ五〇円上がることにあります。

国民年金では、国民の生活水準や経済の変動により、五年ごとに生活に見合った改正をすることになっています。それが昭和四十一年の法改正によって、昭和四十二年一月から二、五倍に引き上げられ、夫婦一万円の年金になりましたが、これにもなつて当然保険料もこれに應じた引き上げが必要となるわけです。しかし、一度に過重の負担をかけないために、昭和四十二年一月と昭和四十四年一月の二回にかけて引き上げられたわけです。

昭和四十四年一月分からは、変更された保険料で納めることになりましたが、誤つて引き上げ前の保険料を納めたり、納め忘れないように注意してください。(民生課)

納期限内納税で 気持ちよい納税を!!

- 納期限内納税とは、税金を決められた期日まで納めることです。
- 納税協力会で、1税目1納期の税総額に対し、納期限内納入額が税総額の80%以上になると、納税協力会に奨励金が交付されます。
- 交付される奨励金額は
 納期限内納入率が 80%以上 90%未満のとき 納期限内納入額の $\frac{1}{100}$
 〳 90%以上100%未満のとき 〳 $\frac{2}{100}$
 〳 100%のとき 〳 $\frac{3}{100}$

○奨励金計算例

税 目	期別	納期	税 総 額	納期限内納入額	納入率	計 算 方 法	奨 励 金
固定資産税	1	4 月	100,000 円	100,000 円	100.0%	$100,000 \times \frac{3}{100}$	3,000 円
〳	2	7	100,000	99,900	99.9	$99,900 \times \frac{2}{100}$	1,998
〳	3	11	100,000	95,000	95.0	$95,000 \times \frac{2}{100}$	1,900
〳	4	2	100,000	90,000	90.0	$90,000 \times \frac{2}{100}$	1,800
町 県 民 税	1	6	100,000	89,900	89.9	$89,900 \times \frac{1}{100}$	899
〳	2	8	100,000	85,000	85.0	$85,000 \times \frac{1}{100}$	850
〳	3	10	100,000	80,000	80.0	$80,000 \times \frac{1}{100}$	800
〳	4	1	100,000	79,900	79.9	—	—
軽自動車税	全	4	100,000	100,000	100.0	$100,000 \times \frac{3}{100}$	3,000
健康保険税	1	4	100,000	80,000	80.0	$80,000 \times \frac{1}{100}$	800
〳	2	8	100,000	90,000	90.0	$90,000 \times \frac{2}{100}$	1,800
〳	3	10	100,000	100,000	100.0	$100,000 \times \frac{3}{100}$	3,000
〳	4	1	100,000	100,000	100.0	$100,000 \times \frac{3}{100}$	3,000
奨 励 金 合 計 額							22,847

- こうして交付された奨励金を、納税協力会ではハイキングや旅行、慰安会などの経費に
あるいは集会場の改築や児童会の育成資金として、
また、お祭りの費用としたり、まんぞうの中に繰り入れるなど
それぞれの協力会の実情に合わせて有効に活用しておられます。
- 昭和42年度中に支払った奨励金の合計額は約140万円です。
- 税金は、朝日町役場のほか北陸銀行泊支店、富山相互銀行泊支店、新川信用金庫泊支店、各農業協同組合、宮崎浦漁業協同組合でもかんたんに納めることができます。(税務課) (9頁へ続く)

優良納税協力会に感謝状

平柳二区納税協力会(柳下林造会長)、上町納税協力会(西井達吾会長)は、昭和43年度に入り町内会長を中心として納税に努力され、その成果が著しく向上したので、優良納税協力会として感謝状を送ることに決定しました。(税務課)

納税協力会社と納期限内納入率と交付奨励金額一覧表

地区	協力会社名	42年度		43年度		地区	協力会社名	42年度		43年度	
		納期限内 納入率	奨励金額 円	納期限内 納入率	奨励金額 円			納期限内 納入率	奨励金額 円	納期限内 納入率	奨励金額 円
境	大平	17.9%		9.0%		南	小更	68.1%	④ 4,907円	70.9%	⑤ 3,548円
	境	25.3		42.5			越	76.5	⑤ 5,014	82.0	⑤ 6,933
宮崎	崎	52.2		52.3		町南保	99.7	⑥ 36,093	98.8	⑦ 26,245	
	元屋敷	87.3	⑩ 3,024	85.6	⑨ 3,063	竹ノ内	77.1	⑥ 9,736	92.1	⑧ 24,638	
界	筥川	77.3	⑨ 26,087	84.2	⑧ 28,772	高苗	56.3		66.2	① 1,027	
	下横尾	46.3	② 434	55.1		谷	56.3		72.3	② 1,438	
泊	温泉町	28.5		58.0	⑦ 465	長野	58.5	① 656	71.4	① 660	
	上横尾	89.2	⑨ 12,665	100.0	⑨ 19,981	石谷	58.2	② 1,476	72.9	④ 1,113	
一	宮本町	44.9		43.3		蛭谷1	97.6	② 12,841	98.0	⑨ 10,089	
	樋向町	58.2	① 287	69.6	① 468	" 2	98.3	③ 11,338	98.5	⑨ 9,537	
区	神田町	36.3		36.2		" 3	96.7	③ 10,258	95.2	⑦ 7,811	
	東下町	62.6	① 1,233	63.1	② 2,648	" 4	98.6	③ 13,683	97.1	⑨ 9,367	
西下町	西下町	58.7		66.9	② 1,428	湯ノ瀬	10.9	⑤ 861	16.7	④ 906	
	東三浦町	29.4		33.2		羽入1	84.3	⑦ 5,609	77.9	④ 4,389	
中三浦町	中三浦町	51.9		52.3		" 2	88.3	① 8,568	76.9	④ 1,601	
	西三浦町	25.7		30.1		" 3	28.0	① 129	53.1		
泊	中町	74.4	③ 13,072	79.2	② 29,316	辻岩崎	100.0	③ 104,497	100.0	⑨ 84,882	
	弥生町	74.9	⑥ 2,240	64.8	③ 1,145	越	61.7	② 1,076	67.2		
二	大屋	41.5		43.3		坊	76.9	② 6,719	100.0	⑨ 33,059	
	本町	67.4	① 4,982	76.3	③ 12,898	小在池	100.0	③ 36,646	100.0	⑨ 26,763	
上町	草町	67.5	⑦ 2,136	78.2	② 5,658	花房	99.2	③ 26,248	100.0	⑨ 22,389	
	清水町	66.3	① 1,148	61.7	① 1,943	棚山	100.0	③ 2,533	100.0	⑨ 2,488	
東草野	東草野	99.2	⑩ 59,795	98.7	⑨ 45,281	山崎新	100.0	④ 32,360	100.0	⑨ 25,187	
	西町	41.0	⑦ 104	33.2		細野	100.0	④ 30,605	100.0	⑨ 25,729	
沼保	沼保	34.9		42.2		山王	100.0	④ 11,613	100.0	⑨ 9,405	
	荒川1丁目	99.6	③ 47,051	99.5	⑨ 32,031	殿町1	100.0	④ 24,218	100.0	⑨ 20,250	
2丁目	" 2丁目	72.4	③ 2,181	75.4	③ 1,824	" 2	100.0	④ 45,179	100.0	⑨ 32,270	
	" 3丁目	63.4	② 3,931	80.3	⑥ 14,697	" 3	100.0	④ 34,806	100.0	⑨ 32,645	
3丁目	" 4丁目	33.9		38.2		野中	横道	99.8	④ 19,919	100.0	⑨ 15,145
	" 5丁目	39.3		40.3		塚下	99.2	② 37,258	99.5	⑨ 32,273	
未広町	未広町	42.3		29.7		大家野	100.0	② 38,334	100.0	⑨ 32,935	
	栄町	51.1		35.6		大庄	99.7	③ 71,918	99.7	⑨ 67,398	
下道下	下道下	47.5		62.4		井ノ口	100.0	④ 40,505	100.0	⑨ 32,863	
	中道下	62.8	⑦ 482	59.4		柳田	99.9	④ 36,140	98.9	⑨ 29,426	
上道下	上道下	40.6		44.9		三枚橋	99.8	④ 70,771	99.9	⑨ 59,219	
	平柳1区	41.1		41.5		不動堂	99.0	④ 16,029	98.9	⑨ 11,534	
2区	" 2区	40.7		100.0	⑨ 25,888	横水	99.8	④ 44,204	99.5	⑨ 36,798	
	日東町	100.0	⑤ 129	23.2	② 18	高橋	99.9	④ 27,720	99.9	⑨ 24,798	
椋町	椋町	48.3		44.5		下山新	99.1	④ 64,465	98.9	⑨ 54,500	
	旭ヶ丘	34.8		34.0		金山	99.8	④ 93,946	99.6	⑨ 85,368	
月山	月山	71.7	② 4,350	72.7	③ 7,517	窪田	94.8	④ 46,729	94.2	⑨ 39,688	
	草野	60.2	② 2,640	64.9	① 2,137	井川新	99.9	④ 74,616	99.9	⑨ 71,186	
草川	草川	97.6	④ 46,384	92.6	⑧ 27,886						

※奨励金額は、42年度において固定資産税・町県民税・保険税各1～4期と軽自動車税全期、43年度においては、固定資産税1～2期、町県民税・保険税各1～3期と軽自動車税全期の合計額であり、納入率はそれぞれの平均である。
※○内の数字は1税目1納期80%以上となった回数である。

昭和43年度 朝日町成人者名簿照会

この名簿は、昭和43年度住民実態調査表により、昭和23年1月16日から昭和24年1月15日までに生まれた、昭和43年度成人該
当者名を記載したものです。記載もれしている方は、12月28日までに教育委員会事務局(電話2-1104、有線泊42-8)まで
お知らせください。12月25日までにお知らせのない場合は、成人者名簿に記載できない場合がありますからご了承ください。

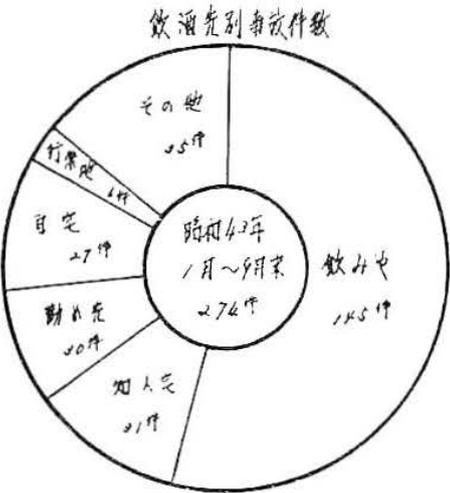
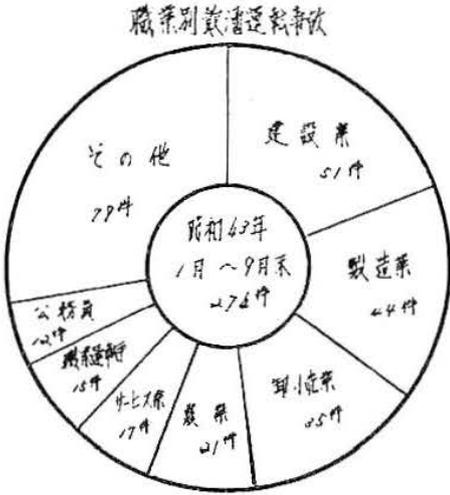
水島千代子	加藤喜雄	宮川光雄	水島えみ子	水島正勝	水島修一	水島厚子	松本研一	浜田千恵子	館誠二	竹谷みち子	口岩富仁子	口岩治美	加藤美香子	大平正康	扇谷日出子	扇谷明子	扇谷則夫	宮崎地区	根建ゆい子	水島和彦	水島ますえ	水島千香子	水島里美子	田中義江	石原麗子	海老真二	水島良子	白金時春	根建てる子	水島哲治	水島夏枝	水島准一	高橋繁子	境地区												
土井弘子	清水英信	中嶋恒生	谷口正則	中山文子	佃一美	宇田栄造	松原義文	松原哲子	長崎静男	長崎優子	長崎清子	長崎勇二	谷口有保	谷口紀美子	谷口玲子	竹内和子	北山久美男	北山豊子	北山明光	南保地区	長井多実子	竹内鈴枝	米原晴美	山田聖隆	長井孝春	長井幸子	長井善昇	竹内善光	竹内道夫	竹内利枝	竹内秀明	勝田清子	折谷司子	折谷むつみ	折谷一博	笹川地区										
安達義信	水野仁士	赤川進	安達曜子	蓬沢守	九里泰朗	山本まち子	河端広子	九里幸子	七沢みづほ	七沢正子	七沢保治	黒崎幸雄	高本幸江	鍋島貞子	大井悦子	大井文雄	大森洋子	中島俊一	西田誠一	善万隆弘	鹿熊多香子	鹿熊好弘	鹿熊礼子	本田正美	上村喜章	角丸善信	本田善保	山崎地区	堀地邦子	岩井豊	川上覚一	田村善信	谷田栄美子	勝原和子	勝原友栄	石原久美子	中島照枝									
道下京治	道下優二	小川清	藤田和美	林和夫	前川ひろ子	藤田のり子	青木進	堂用潔	池田和子	沢崎まき子	井口みづ子	大久保かずあ	上野一	大久保七月子	青木元	伊藤隆夫	坂口良栄	大家庄地区	辻政光	道下峰子	山崎良一	小杉富子	大井久子	目附秀信	川口ますみ	秋山佳明	牧野美知子	永口久仁子	永口盛義	長津正夫	長津順子	長津澄子	青島悦子	仙名清臣	仙名津子	青島あつ子	池田達雄									
高嶋美春	田中司文	清水安信	近藤洋一	河内幸雄	河内加恵子	大井和子	石橋寛司	五箇庄地区	大野一葉	小川静人	有沢美幸	富岡達信	岡田実	由井千賀子	岡田朝子	藤井恵子	東正信	吉田美知子	藤田君枝	清水邦夫	門口博	大野清子	大野清子	野村安男	中島博	広沢俊夫	中村操	松田光雄	野村純子	西島隆雄	能島英主	中島久美子	小新堂均	山田実	山手順子	南茂美和子	水井哲									
水島貴美子	堀田安信	坂東幸男	武田良洋	越坂政明	梅沢啓一	泊一區	泊一區	廣田香代子	浜田猛雄	篠田美津夫	折戸明夫	折戸美幸	折戸節子	保井範秀	山田幸雄	廣田あき	長谷川新一	浜川明志	佐渡昭夫	佐渡邦孝	佐渡章子	草山文夫	金井優子	西村富均	西村富男	西村正資	谷口さよ子	帶刀武志	沢田妙子	沢田英子	沢田和清	狩谷常人	河村み多子	山田実	山田順子	松井美和子	長井幸嗣									
泊二區	水島真理子	野島実	永井昇	田中茂子	金井光夫	湯島富子	水島弘子	水島優	野村政子	寺崎松雄	魚住昇	藤岡みき子	山崎明美	川上隆一	岡島歳洋	石黒豊二	横山正俊	松倉秀夫	水野敏夫	古市恵美子	久野木孝子	上杉秀雄	大菅由美子	丸岡久男	間部朱美	殿村陽子	大谷秀子	松田トミエ	中村健志	杉本千矢子	小坂功二	大村憲治	高橋侯雅	武田美加子	酒井慎二	山田実	松井晴美	岡本純一								
浜四津律子	杉山啓子	島博文	岡明夫	茂木きよ子	堀田美津子	岡本和美	黒川猛	玉水弓子	染谷幸子	島田保子	小坂信男	菊地範博	八木京子	神子沢保子	舟本留美子	小沢博子	内川好雄	梅沢勉	上野恒子	居波和代	赤川和子	舟川邦男	寺田幸雄	下沢英明	後藤新一	上沢慎一	草東好子	荒尾アサ子	長津良孝	鷲英美子	米田とみ子	水島証一	寺崎道義	野島もも子	白石恵美子	大蔵忠	梅沢幸美	堀一子	古沢清光							
魚津信明	岩田正敏	岩田悦子	柚木英一	平田明美	入江高平	石博雅	大村昇	柳沢潤	松永哲夫	松田洋子	松本秀明	酒井正志	魚住常雅	入江都	青木孝子	橋本博	坂上一保	坂東義信	伊東忠二	平柳友二	笹川幹男	横谷正嗣	大西実枝子	大橋拾司	山本三子	松原多恵子	小杉真紀子	泊三區	荒尾アサ子	長津良孝	鷲英美子	米田とみ子	水島証一	野島もも子	氷見和久	平木利明	松田憲枝	丸川隆子	松平一男	橋平勉	竹中幸恵	小松芳子	黒坂菊光	岩村常失	平崎長久	永井正晴
畑きよ子	堀ゆり	大黒谷尚子	米沢朝子	若狭喜久子	伊藤茂子	長津君子	徳光鈴子	谷香代子	長津恵美子	水島とよ子	宝田京子	大村咲喜子	中島富美子	中野かをり	寺崎ユキエ	林啓子	早崎秋子	西村博美	樽井紀子	加藤きね子	柳下知恵子	平坂長博	平坂慎一	畑順子	氷見正義	長谷すみ子	南部美紀子	稲村孝雄	由井一男	松平一男	橋平勉	竹中幸恵	小松芳子	黒坂菊光	岩村常失	平崎長久	梅沢幸美	堀一子	古沢清光	永井正晴						

あぶない!! 飲酒運転

十二月一日から一月十四日まで 飲酒運転追放県民運動

県内の交通事故は、既に昨年(昭和42年)の発生件数を突破し、史上最高という好ましくない記録を更新しているのに加え、飲酒運転による悲惨な事故の発生は、依然としてあとを絶たない現状にあります。

このような現状に対処し、特に年末年始は飲酒の機会が多くなり、飲酒運転による交通事故が多発し、重大事故をおこすことがあるので、酒を飲んで運転する行為を罪悪とし、絶対飲酒運転をしない、させない県民運動を展開して、飲酒による交通事故の絶滅を図ろうと、十二月一日から来年一月十四日まで、飲酒運転追放県民運動が実施されます。



郵便局だより

- 郵便の差出しはお早めに
小包郵便物は十二月十五日頃までに
- 年賀郵便物は十二月二十二日頃までに
- 郵便番号の記載を
郵便物には郵便番号を
年賀郵便物には必ず自分の郵便番号を。受け取られる方にこちらの郵便番号がわかり、喜ばれることとなります。
- あて名は正確に

公給領収証を 受けとりましょう

料理飲食等消費税の公給領収証は、経営者が皆さんから税金を受け取ったとき、そのしるしとして必ず交付することになっていく領収証(県が印刷したもの)のことです。

そこで、皆さんが料理店、キャバレー、バー、旅館、飲食店などを利用されたときは、代金と引き替えに必ず公給領収証を受け取ってください。

(富山県)

農事教室



ことしの農業反省

昭和四十三年の農業を反省していただき、転換期に真面目な稲作農業から脱皮した農業経営を考えて、長期計画の基盤にしていだきたいと思えます。

稲作は二年連続の豊作となり、日本の食糧事情が好転したため、全国的に総合農政に立脚した農業経営に迫られています。

朝日町でも当然に、水稲の外に有利な総合農業へと転換すべきでしょうが、それぞれ適地適作を取り入れていくべきです。

水稲栽培については、特に「うまい米作り」が要求されます。春以来産米改良、うまい米作りを呼びかけしてきましたが、残念ながら産米の検査成績は、昨年より七%以上も下まわりました。

農協ごとに品種間の差異が異なっています。

種子の準備が行なわれているでしょうが、奨励品種以外は作付けしないうちに、富山早生、とみさかえについて、全部三等以上になるような土地条件のない所は作付けを控えてください。

おわび

本誌十一月号(第一五九号)に次の間違いがありましたので訂正いたしておわび申し上げます。

記

▽一頁、小丸山公園の今昔の、富山県国体のとき「高松宮妃殿下の「臨席」とあるを「三笠宮妃殿下」に

(入善農業改良普及所 朝日支所)

県表彰に輝く人たち

山崎市次郎・沢田行一氏に 県政功労者表彰

文化の日に先がけた十一月二日、県議場において、昭和四十三年度富山県政功労者表彰が行なわれ、朝日町からは山崎市次郎氏(舟川新)、沢田行一氏(舟川新)が、それぞれ土地改良、チューリップ栽培に対する功績が認められて知事表彰を受けられた。

△山崎市次郎氏
今から七〇年前の明治三十年、舟川新部落の発展は耕地整理にあるとして、散居する宅地の整理と耕地整理を志し、いろんな中傷や妨害を克服しながら、私

なわれた第六回富山県農業祭の席上朝日町桜町の南茂幸次郎氏は、県農林漁業功労者として知事表彰を受けた。

南茂氏は、農業構造改善事業の受け入れを主唱するとともに、桜町土地改良区を設立し、理事長として近隣に先がけて圃場整備を完成し、他地域の事業推進にも多大の功績をあげられた。(産業課)

△沢田行一氏
昭和二十九年以来、チューリップ球根の栽培をし、品質の改善と増収に努力され、昭和四十年にはチューリップ栽培日本一となられて全国農業祭の席上で天皇杯を受けられ、富山県チューリップの声価を広く全国に紹介されるとともに、水田裏作のチューリップ栽培と省力栽培の新技术の開発に大きな功績をあげられた。(町長室)

十一月二日、県議場において、昭和四十三年度富山県教育功労者表彰が行なわれ、泊中学校用務員の大村いとさんは、優良用務員として県教育委員会表彰を受けられた。

大村さんは、昭和二十二年から二十一年間、泊中学校の用務員として校内の清掃、保安、給食の手つだいその他暖房の手つだい等に献身的に努力され、学校運営のかけの力として尽くされた。(教育委員会)

優良用務員として 大村いとさん

なめこ菌床栽培始まる

林業構造改善事業の一環として計画された、旧国鉄宮崎すい道を利用したなめこ菌床栽培施設は、この程施設工事と機械器具の設置も終わり、いよいよ栽培作業が始まった。この栽培は宮崎なめこ生産組合が行なうもので、普通のなめこ栽培は、林地で、秋期の野生栽培が主であるが、最近、技術的に「なめこ」の菌床栽培が可能となり、すい道内の湿温の調整により、発生時期を異にした不時栽培による生産を目的としたもので、他に類を見ない本地域の特色を生かした事業である。すい道の延長は二一〇米あり、その中にポイッ、殺菌釜、培養棚を据え付け、またすい道内は暗い関係上、培地の着色も考慮され、太陽灯、及び蛍光灯等も取り付けられ、内部は一見して工場のようなものである。(産業課)



△旧国鉄宮崎すい道内のなめこ菌床栽培施設

消防署だより

師走の声を聞き、お互いに心せわしいこの時期は、火気の取扱、後始末もおろそかになりがちです。尊い生命、財産を火災から守るために、火に対しては、用心すぎる程用心したいものです。

消防本部では歳末火災予防運動を十二月二十一日から三十一日まで実施し、特に二十八日から三十一日までの四日間は特別警戒期間とし、次の要領でサイレンを吹鳴します。

イ、吹鳴時間 午前七時、午後九時の二回
ロ、吹鳴方法 演習招集信号(十五秒鳴、六秒休三回)
(消防署)



藤田覚平・近藤健作氏 第7回農業祭に招待

財団法人日本農林漁業振興会主催の第7回農業祭が、11月23日、日比谷公会堂で行なわれ、朝日町の藤田覚平氏(三枚橋一写真右)、近藤健作氏(長野一写真左)が招待者として出席された。

これは、昨年中に行なわれた品評会、共進会などの各種表彰事業において農林大臣賞を受賞された方々を招待して行なわれたもので、とくにことしは明治百年を記念して、明治神宮御社殿、参集殿において新嘗祭々殿、収穫感謝の集いがそれぞれ行なわれた。

＜藤田覚平氏＞

昭和42年度富山県一米作り選賞で、10アール当り675.9kgの成績で1位を獲得、農林大臣賞を受賞

＜近藤健作氏＞

昭和42年度富山県畜産共進会和牛(種雌牛)の部において優等賞を獲得し、農林大臣賞を受賞(産業課)

昭和四十四年 新年祝賀名刺交換会案内

日時 一月一日 十一時三十分
場所 泊高等学校体育館

参加ご希望の方は、十二月二十日まで、町内会、各事務所、官公庁等でとりまとめて、一人当たり金二百円を添え、役場町長室宛申し込んでください。
(町長室)

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六円
定価 六円
郵便番号 九三九一〇七